

令和5年度宇都宮市立上河内中学校 学校評価書

1 教育目標（目指す生徒像含む）

人間尊重の理念を基調とし、豊かな情操を備え、社会の変化に向き合いながら、常に目標を持ち、自ら学ぶ意欲を持ち続け、他と協働して粘り強く物事に取り組む心身ともに健康な生徒を育成する。 【校是：よく学び よく鍛えよ】

☆ めざす生徒像

- ・ 学び鍛える生徒
- ・ 自他を尊ぶ生徒
- ・ 気力あふれる生徒

☆ めざす教師像

- ・ 愛と情熱にあふれる教師
- ・ 研ぎあう教師
- ・ 実践する教師

☆ めざす学校像

- ・ 楽しく学びあえる学校
- ・ 協に伸びる学校
- ・ 信頼される学校

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

- (1) 個に応じた教育を進めながら、生徒が生涯にわたって社会の変化に対応し、成長し続けることができるように、その基盤となる「知」・「徳」・「体」のバランスのとれた力の育成に努める。
- (2) 全教職員が使命感と意欲をもって学校経営に参画し、教育課程の具現化に取り組むことで生徒・保護者・地域の信頼や期待に応え、地域とともにある学校づくりに努める。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 「確かな学力」を育むことをめざして
 - ① 学力調査等を活用した現状分析と改善策の検討並びに実践
 - ② 習熟度別学習等による生徒の実状に即した指導・支援の推進
- ③ 家庭学習の習慣化に向けた指導・支援の強化
- ④ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- ⑤ デジタル機器の効果的な活用（1人1台端末、AIドリル等）
- (2) 「豊かな心」を育むことをめざして
 - ① 道徳科の指導を中核とした道徳教育（宮っ子心の教育）の充実
 - ② 体験・ボランティア活動や読書活動等を通じた豊かな心や創造性の涵養
- ③ 委員会活動や学校行事を通じた自己有用感や自己肯定感の涵養
- (3) 「健やかな体」を育むこと（健康で安全な生活と豊かなスポーツライフの実現）をめざして
 - ① 健康診断や新体力テスト等による現状把握・改善と体育に関する指導の充実に向けた取組の推進
 - ② 学校栄養職員や養護教諭の参画を通じた食育や保健指導の更なる充実と推進
 - ③ 交通安全教室や避難（防災）訓練等を通じた安全に関する指導の充実
 - ④ 進んで運動に取り組む環境づくりの推進と性・薬物等に関する指導の充実（心身の健康の保持増進）
- (4) 「教職員の資質・能力」と「学校のチーム力」の向上をめざして
 - ① ○J T・研修等を通じた教師の授業力向上に向けた取組の継続
 - ② 情報共有の推進と共通理解・同歩調による指導の充実
 - ③ 校務のデジタル化等を通じた業務の効率化及び適正な在校等時間を意識した「働き方改革」の推進（時間外在校等時間の削減）
- (5) 「未来を生き抜く力」を養うことをめざして
 - ① 1人1台端末の活用を通じた情報活用能力の定着とデジタル・シティズンシップ教育の推進（情報化・グローバル化社会への対応）
 - ② 宇都宮学の学習を通じた地域への愛情と誇りをもてるような指導の充実
- ③ 地域の教育資源の活用と生徒の地域行事への積極的参加の推進
- ④ A L Tの授業参画を通じた英語を使ったコミュニケーション力の育成及び異文化理解・尊重の推進
- (6) 小中一貫教育と地域学校園の取組の充実をめざして
 - ① 地域学校園で作成した小中一貫教育カリキュラムの確実な実践
 - ② 発達の段階に応じた学業指導の充実
 - ③ 地域学校園内の児童生徒交流及び教職員間の情報交換等の充実

【上河内地域学校園教育ビジョン】

かしこく、たくましいゆずっ子の育成 ～基本を身に付け、人とつながり、夢に向かって生きる子どもを育てよう～

4 教育課程編成の方針

- (1) 基本方針
教育基本法・学校教育法等の法令及び学習指導要領に基づき、上河内特有の地域性や生徒、学校の実態等を考慮し、生徒の心身の発達段階に応じた編成を行う。
- (2) 留意点
 - ① 学校の教育目標や「めざす生徒像」、各教科の目標・ねらいとの整合性を図る。
 - ② 学習指導要領で示されている各教科等の授業時数を確保する。
 - ③ 「総合的な学習の時間」において、教科等横断的な視点に立った追究活動の推進や発表をめざした学習を進める。

- ④ 学校評価との関連付けを図り、P D C Aサイクルを機能させたカリキュラムマネジメントを行う。
- ⑤ 地域協議会等との連携を図るとともに「社会に開かれた教育課程」の実現をめざす。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

- (1) 学校運営
- ① 生徒一人一人を大切にしたい、個に応じた支援の充実
 - ・いじめ根絶に向けたアンケート実施（早期発見）と早期対応
 - ・ステップルームの利用促進による不登校生徒への適切な支援
 - ② 教職員の負担軽減
 - ・業務の効率化及び在校等時間の適正化（時間外在校等時間の削減）
 - ③ 「地域とともにある学校」づくりをめざし、地域と連携・協働した取組の充実・推進
 - ・部活動指導（休日）の地域移行に向けた協議会設置検討会議の実施
- (2) 学習指導
- ① 確かな学力を身に付けさせるための授業展開や学習活動の工夫
 - ・一人一台端末の効果的な利活用
 - ② 家庭学習の習慣化とその充実に向けた指導・支援の強化
 - ・eライブラリーを利用した家庭学習の確立
 - ③ 「学びに向かう集団」づくりの推進
 - ・地域学校園としての学習ルール指導を中心とした学業指導
- (3) 児童生徒指導
- ① 基本的な生活習慣を身に付け、高い規範意識に基づき行動する生徒の育成
 - ・生徒会活動（話し合い）を通じた自主的・自発的活動の意図的な設定
 - ② 組織的な対応による、一人ひとりに寄り添った支援の充実
 - ・生徒指導係会や教育相談係会・特別支援教育部会における情報共有と対策等の検討
 - ③ 「宮っ子心の教育」の推進
 - ・体験活動・読書活動、及び道徳科の授業の充実
- (4) 健康（体力・保健・食・安全）
- ① 給食や食農体験等の充実による地域の特色を生かした食育指導の推進
 - ・お弁当の日、地域食材を生かした給食メニュー設定（行事食・地産地消等）
 - ・小中で連携した指導（食事マナー・衛生等）
 - ② 検診結果を踏まえた地域学校園として連携した保健指導の充実
 - ・視力改善（維持）に向けた指導（デジタル機器による影響への対策等）
 - ③ 地域学校園の小中一貫カリキュラムを踏まえた運動生活の習慣化
 - ・保健体育科、部活動等における基礎体力の向上を目指した取組

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通、地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には、A拡充 B継続 C縮小・廃止 を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所を下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
1-(1) 確かな学力を育む教育の推進	<p>A1 生徒は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、学習課題を解決するために、友達と話し合ったり必要な情報を集めたりしながら、じっくり考え、進んで学習に取り組んでいる。」⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①本時のめあてを分かりやすく具体的に提示し、見通しをもたせる授業を展開するとともに、めあてに対する振り返りをさせる。</p> <p>②○必要に応じて、授業の中で話し合い活動を取り入れるなど、主体的で対話的な学習が進められるような学習形態を工夫する。</p> <p>③○家庭学習の習慣化と内容の充実を図るために、取り組み方を図書委員や放送委員と連携して示したり、Google・クラスルームに提示したりして啓発する。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は92.5%で、目標値を12.5ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時のめあてを分かりやすく具体的に提示し、見通しをもたせる授業を展開するとともに、めあてに対する振り返りを通して、学習の定着状況を自覚させる。 ・必要に応じて、授業の中で話し合いを取り入れるなど、主体的・対話的な学習が進められるような活動・形態を工夫する。 ・家庭学習の習慣化と内容の充実を図るために、取り組み方を図書委員や放送委員と連携して示したりして啓発する。

<p>1ー(2) 豊かな心を 育む教育の 推進</p>	<p>A2 生徒は、思いやりの心 をもっている。 【数値指標】全体アンケート 「私は、誰に対しても、思いや りの心をもって優しく接して いる」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①○受容・共感・傾聴等の大切さにつ いて指導する。 ②○相手に対してどのように伝わる かなど、相手の心情を考えて話すよう 意識させる。 ③生徒会主催のいじめゼロ集会など を通して、生徒の思いやりに対する意 識を高める。 ④○道徳の授業や日々の生活におい て、時と場に応じた言動や相手への思 いやりについて生徒に考えさせ、意識 を高めさせる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 93.6%で、目標値 を 13.6 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・学校生活全体を通し、人との関わり 方、よりよいコミュニケーションの取り 方を考えさせる指導の充実を図る。</p>
	<p>A3 生徒は、目標に向かっ てあきらめずに、粘り強 く取り組んでいる。 【数値指標】全体アンケート 「私は、目標に向かってあき らめずに、粘り強く取り組ん でいる」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①各学級で、1年間の自分の目標を設 定させ、定期的に見直しをさせること により、目標に向かって取り組むこと を意識させるとともに達成感を味わ わせる。 ②定期テストにおいて、テスト計画表 を作成させる際に、数値目標など具体 的な目標を設定させ、計画的に取り組 ませる。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 88.4%で、目標値 を 8.4 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・学校行事や学習の節目などの機会 で振り返りを重視し、自己指導能力の育 成に努める。</p>
<p>1ー(3) 健康で安全 な生活を実 現する力を 育む教育の 推進</p>	<p>A4 生徒は、健康や安全に 気を付けて生活してい る。 【数値指標】全体アンケート 「私は、健康や安全に気を付 けて生活している。 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①保健だよりや健康委員会による「姿 勢の日」の活動を通して、健康な生活 について啓発をする。 ②○新体力テストの結果を基に、不足 している基礎体力作りに取り組む。体 育の授業では計画的に補強運動を取 り入れ運動量の増加を目指す。 ③自転車通学の生徒が多いので、登校 指導や自転車点検、交通安全教室な どの活動を通して、自転車の正しい乗 り方、交通安全の意識を高める指導を 徹底する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 91.9%で、目標値 を 11.9 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・交通安全について、より意識を高め られるよう交通安全教室や委員会活 動を通して指導していく。 ・健康に生きるための体力の重要性に ついて、授業や委員活動で指導する。</p>
<p>1ー(4) 将来への希 望と協働す る力を育む 教育の推進</p>	<p>A5 生徒は、自分のよさや 成長を実感し、協力を して生活をよりよくし ようとしている。 【数値指標】全体アンケート 「私は、自分の良さや考えを 生かしたり、周りと協力し合 ったりして、進んで生活を よりよくしようとしている。 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①学級活動の時間を用いてキャリア パスポートを活用したり、自己の活 動を振り返らせたりすることにより、 新たな学習や生活への意欲につな げ、将来の生き方を考えさせる。 ②各学年で自らの個性を把握し、 把握した個性を生かすという視点 で進路指導を行う。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 91.3%で、目標 値を 11.3 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・学級活動の時間を用いてキャリア パスポートを活用したり、自己の活 動を振り返らせたりすることにより、 新たな学習や生活への意欲につな げ、将来の生き方を考えさせる。 ・各行事等を通して、自らの個性を 把握し、把握した個性を伸ばして いく指導を行う。</p>
<p>2ー(1) グローバル 社会に主体 的に向き合 い、郷土愛 を醸成する 教育の推進</p>	<p>A6 生徒は、英語を使って コミュニケーションして いる。 【数値指標】全体アンケート 「私は、英語の授業やALTと の交流の際に、英語を使って コミュニケーションしている」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①○英語による授業を行う。また、 教員(ALTを含む)との対話活動や、 生徒がペアになって自分の考えや 気持ちを英語で伝え合う活動など、 生徒が発話する場面を多く設ける。 ②○チームティーチングの授業で、 T1とT2が英語でのやりとりのモ デルを多く見せることにより、生 徒に自然とやりとりの仕方を身に 付けさせる。</p>	<p>A</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 70.5%で、目標 値を 9.5 ポイント下回った。 【次年度の方針】 ・生徒がペアになって自分の考えや 気持ちを英語で伝え合う活動や、 タブレットを媒体としてコミュニ ケーションする活動をより行うな ど、生徒が発話する場面を多く 設ける。 ・英語本の読み聞かせなどの、 ALTと交流する機会を昼休み等に 設定する。 ・コミュニケーションの基礎・基本 となる表現を繰り返し学習させる ことで、生徒のコミュニケーション 技能をより定着させる。</p>

	<p>A7 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】全体アンケート「私は、宇都宮の良さをしている」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①地域の良さを知らるために、地域の人と一緒にやって行事に参加することにより「郷土愛」を育ませる。 ②総合的な学習の時間において、宇都宮学に取り組むことで郷土の良さを再認識させる。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 89.0%で、目標値を 9.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・地域の良さを知らるために、地域の人と一緒にやって行事に参加することにより「郷土愛」を育ませる。 ・総合的な学習の時間において、宇都宮学に取り組むことで郷土の良さを再認識させる。</p>
<p>2- (2) 情報社会と科学技術の進展に対応した教育の推進</p>	<p>A8 生徒は、デジタル機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】全体アンケート「私は、パソコンや図書等を学習に活用している」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①各教科や総合的な学習の時間において、タブレットやプレゼンテーションソフトを利用して、調べ学習や発表に取り組ませる。 ②国語科等の調べ学習において、積極的に図書館を利用する。また、他教科においても、授業で図書の活用を進める。 ③クロムブックの様々な学習用アプリケーションを活用する。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 77.7%で、目標値を 2.3 ポイント下回った。 【次年度の方針】 ・各教科や総合的な学習の時間において、プレゼンテーションソフトを利用して、調べ学習や発表に取り組ませる。 ・国語科・社会科・総合的な学習の時間等の調べ学習において、積極的に図書や新聞を利用する。 ③クロムブックの様々な学習用アプリケーションを紹介し、活用させる。</p>
<p>2- (3) 持続可能な社会の実現に向けた担い手を育てる教育の推進</p>	<p>A9 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】全体アンケート「私は、環境問題や防災等の持続可能な社会について、関心をもっている」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①生徒会専門委員会を通して、節電やリサイクルによる再利用についての呼びかけや、回収活動を実施することで、生徒の関心を高めさせる。 ②授業や学校行事を通して、「持続可能な社会」や「SDGs」について理解を深めさせ、身近なものに関連させる。 ③避難訓練等を通して、火災や自然災害の対策を身に付けさせ、自ら考え行動する「生きる力」の育成を図る。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 81.5%で、目標値を 1.5 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・生徒会専門委員会による、節電やリサイクルについての呼びかけ、回収活動、広報活動を実施することで、自分は何ができるか考えを深めさせ、生徒の関心を高める。 ・授業や学校行事を通して、「持続可能な社会」や「SDGs」について理解を深めさせ、身近なものに関連させる。 ・避難訓練等を通して、火災や自然災害の対応を身に付けさせ、自ら考え行動する「生きる力」の育成を図る。</p>
<p>3- (1) インクルーシブ教育システムの充実に向けた特別支援教育の推進</p>	<p>A10 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】全体アンケート「教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員肯定回答 90%</p>	<p>①特別な支援を必要とする生徒の実態を把握し、校内支援委員会を実施し、共通理解を図る。 ②生徒指導係会や教育相談係会等を定期的に行い、生徒に対する支援の共通理解を図る。 ③SCやMS等と連携を図り、ステップルームの利用など、個に応じた対応に心掛ける。</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 100.0%で、目標値を 10.0 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・一人一台端末を活用したオンライン指導の充実など、個に応じた対応ができるよう連携を図る。</p>
<p>3- (2) いじめ・不登校対策の充実</p>	<p>A11 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる」 ⇒生徒肯定回答 90%</p>	<p>①〇休み時間の巡回指導や教育相談、嫌な思いアンケートを活用して、いじめを早期に発見する取り組みに努める。また、生徒の不適切な言動に対して細かな声掛けを行う。 ②〇いじめに対しては、いじめ対策委員会で組織的かつ迅速に対応する。 ③〇保護者会やHP、各種だより等で取組を周知する。</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 95.4%で、目標値を 5.4 ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・日々の指導や、教育相談などのいじめを事前に防ぐ取組を継続し、早期発見、早期対応を図るとともに、学校を取組を伝える。</p>

	<p>A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方は、一人一人を大切にし、生徒がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①○教育相談係会において、不登校傾向の生徒について、SC、MSと連携した対応を検討し、全教職員が共通理解の下、支援に当たる。</p> <p>②○Q-Uの結果や日記指導（宮っ子ダイアリー）、エンカウンター等を実施することで、学級集団としての状態や、生徒一人一人の意欲や満足感を把握し、学級経営に生かす。</p> <p>③○自尊感情を高めるような声掛けを全教職員で実施する。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は95.4%で、目標値を15.4ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所づくりと所属意識の向上に努め、その取組を職員間で共有する。実態に応じてエンカウンターを実施する。
<p>3-（3）外国人児童生徒等への適応支援の充実</p> <p>3-（4）多様な教育的ニーズへの対応の強化</p>	<p>A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方は、困ったときに相談に乗ってくれたり、問題を解決しようとしていたりして、私たちが楽しく学校生活を送れるようにしている」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①学校行事や生徒会活動が感動ある活動になるように、生徒が主体的に企画・運営・参加できるように指導する。</p> <p>②生徒が自ら考える機会を数多くつくり自主的活動を充実させ、生徒一人一人が達成感や自己肯定感を得られるような集団づくりを推進する。</p> <p>③エンカウンター等の人間関係を円滑にさせる取組を充実させるなど、居心地の良い学級づくりを推進する。</p> <p>④グローバル社会を意識し、生徒や保護者への適切な支援に心掛ける。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は96.0%で、目標値を16.0ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き生徒主体の教育活動や居心地の良い学級づくりに努め、生徒の自己肯定感や自己有用感を高めるとともに、個性を大切にできるよう指導する。
<p>4-（1）教職員の資質・能力の向上</p>	<p>A14 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は分りやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①TTや習熟度別学習などの少人数指導の工夫により基礎・基本の定着を図り、本時のめあてを明示し振り返りを記入させることにより、「分かる授業・できる授業」を目指し、指導法の改善に努める。</p> <p>②○「表現力を高め、自分の考えを伝え合う授業」をテーマとした「一人一授業」を実践し、個々の教員の授業力向上を図る。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の肯定的回答は92.5%で、目標値を12.5%上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、TTや習熟度別学習などの少人数指導の工夫により基礎・基本の定着を図る。 ・「分かる授業・できる授業」を目指し、指導主事から学ぶことなどを通し、指導法の改善に努める。 ・「表現力を高め、自分の考えを深め合う授業」をテーマとした「一人一授業」を実践し、個々の教員の授業力向上を図る。
<p>4-（2）チーム力の向上</p>	<p>A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる」 ⇒教職員肯定回答 80%</p>	<p>①新しい学習評価やGIGAスクール構想の確実な実施に向け、教職員が一丸となって、生徒達のために共通理解を図り計画的に教育活動を実践する。</p> <p>②各種委員会を定期的に開催し、リーダーを中心にそれぞれの教育活動推進と次年度に向けた検証を行う。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は100.0%で、目標値を20.0ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領の改訂から数年が経過しているので①については見直す。 ・総合訪問や学校行事などに教職員がチームとして機能する体制を確立する。 ・各種部会・委員会を定期的に開催し、リーダーを中心にそれぞれが機能する体制づくりに努める。
<p>4-（3）学校における働き方改革の推進</p>	<p>A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。」 ⇒教職員肯定回答 80%</p>	<p>①学校経営方針に基づき教育活動を実践するとともに、教職員が担う業務の明確化・適正化を検証する。</p> <p>②職員会議や校務運営委員会での協議を継続し、会議等の効率化・適正化を図り、教職員が生徒に向き合う時間確保に努める。</p> <p>③宇都宮市部活動の指針に基づき、各部活動が適正な計画を立案し、望ましい部活動の在り方を実践する。</p> <p>④業務のICT化をより進められるよう関係機関に働きかける。</p>	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の肯定的回答は84.2%で、目標値を4.2ポイント上回った。 <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員会議や校務運営委員会での協議と報告を分け、会議等の効率化・適正化を図り、会議の勤務時間内終了に努める。 ・業務の効率化が可能となるシステムの導入について関係機関に働きかける。

5- (1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、地域学校園の小学生や中学生、先生と、授業や行事、掲示物などで交流する活動を行っている」 ⇒生徒肯定回答 80%	①○地域学校園内小中学校間の連絡・調整等を密に行い、小中合同あいさつ運動や進学先中学校訪問等における活動の充実を図る。 ②○小中一貫教育における「『ゆずっ子』の学びの5つの約束」を意識させて学習に取り組ませる。 ③○図書館の図書紹介ポップでの小中交流を生徒に広く周知する。	B 【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は80.9%で、目標値を0.9ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・「『ゆずっ子』の学びの5つの約束」の内容の見直しと周知の仕方の工夫をする。 ・現在行っている取組の周知の仕方を工夫する。
5- (2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。	①家庭や上河内中学校地域協議会などと連携し、地域学校園の諸活動と関連させながら、農園活動や読み聞かせなどの地域人材を活用した諸活動を推進する。	B 【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は86.1%で、目標値を6.1ポイント上回った。
5- (3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者肯定回答 80%	②○望ましい礼儀やマナーを育成するため、あいさつ運動や場に応じた適切な言葉づかいの標語募集等の取組や日常的な指導を、地域学校園内小・中学校及び地域協議会が連携・協力して行う。 ③キャリア教育、情報モラル教室や交通安全教室において地域の方や企業等と連携・協力し、教育活動の充実を図る。 ④活動を生徒が振り返る際に、地域等との関連や関わりについて考える時間を設定する。	B 【次年度の方針】 ・例えば、特産品の“ゆず”に係ることで地域に関わる活動を行うなど、地域連携を図る。 ・地域協議会との一層の連携を図り、地域未来塾・地域未来会議等の活動を継続する。 ・キャリア教育等で、地域の方や企業等と係る活動を計画する。
6- (1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】全体アンケート「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒保護者肯定的回答 80%	①安全指導係を中心に全教職員で、校内安全点検を定期的実施し、校内の安全確保に努める。 ②管理職や事務、学校業務担当（機動班）が連携を図り、施設等の迅速な修繕に努める。	B 【達成状況】 ・保護者の肯定的回答は85.1%で、目標値を5.1ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・定期点検結果の情報共有、管理職への迅速な報告、機動班の積極的活用により、利用者の安全・安心を重視した教育環境を引き続き整える。
6- (2) 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】全体アンケート「私は、授業（授業準備も含む）や業務の改善に、デジタル機器を積極的に活用している」 ⇒教職員肯定回答 80%以上	①ICT機器を活用するために校内研修等を行い、スキルアップを図る。 ②情報教育担当や司書が学級担任と連携し、PC及びタブレット、学校図書館図書、市立図書館の巡回図書等の活用を図る。 ③読み聞かせの実施や図書だよりによる啓発などにより、学校図書館を核とした読書活動の充実を図る。	B 【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は94.7%で、目標値を14.7ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・ICT機器を活用するために校内研修等を行い、スキルアップを図る。 ・授業担当と司書が連携し、クラスルームに参考資料リストを載せ、授業で紹介する。（パスファインダー）
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】全体アンケート「私は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒生徒肯定回答 90%	①○生徒会や教職員・PTAによるあいさつ運動を活発に行うとともに、部活動でもあいさつ指導の充実を図る。 ②○教職員が率先してあいさつをすることで、学校全体があいさつをする雰囲気高める。 ③○あいさつ強化週間を設定し、率先してあいさつをする意識を高め実践させる。	B 【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は96.0%で、目標値を6.0ポイント上回った。 【次年度の方針】 ・生徒会活動におけるあいさつ運動や、地域学校園協議会と連携した適切な言葉遣いの指導を継続する。

	<p>B2 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、きまりやマナーを守って、生活している。」 ⇒生徒肯定回答 90%</p>	<p>①○学校行事や委員会活動、部活動を通して生徒と対話のできる関係と雰囲気づくりを推進し、マナーを守って生活することの大切さを指導する。</p> <p>②○チャイム2分前着席や指名・指示されたときの返事を徹底する。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は92.5%で、目標値を2.5ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・学校生活全体を通して、きまりやマナーについて、自分の意志で大切にしたり、必要に応じて見直したり、自分の意志で守ろうとしたりする自己指導能力を育成する。</p>
地域学校共通	<p>B3 生徒は、上河内地区のお祭り、催事、作品募集などの地域行事に参加し、交流している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、上河内地区のお祭り、催事、作品募集などの地域行事に参加している。」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①生徒会活動として、施設訪問や情報発信を行うとともに、生徒が地区の催事にボランティアとして参加したり、作品を出品したりするなど、地域団体と連携する。</p> <p>②○郷土愛や愛国心を育てるため、生徒に梵天祭等への参加を促すとともに羽黒山等の清掃活動「羽黒山ボランティア」等を実施する。</p> <p>③専門委員会活動で、放送委員会が取組を紹介したり情報を発信したりするなどの、生徒の認識を高める活動を取り入れる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は82.1%で、目標値を2.1ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・施設訪問の実施を検討する。 ・羽黒山ボランティアとしては、羽黒山清掃にとどまらず、地域の清掃活動として位置付ける。 ・専門委員会ごとに地域行事についての取組を考えさせ、生徒会朝会を利用して発信する機会を設定する。</p>
本校の特色・課題等	<p>B4 生徒は、総合的な学習の時間等では、学んだ知識や技能を生かし、協力してまとめたり、分かりやすく発表したりすることができている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は、総合的な学習の時間では、学んだ知識や技能を生かし、協力してまとめ、分かりやすく発表することができた。」 ⇒生徒肯定回答 80%</p>	<p>①調べ学習（ICT機器や学校図書館等の利活用）に必要な、情報を集めたり活用したりする技能を高めさせる。</p> <p>②グループ内で意見を共有するために、ジャムボード等のアプリケーションを活用させる。</p> <p>③協働する学習を通して、コミュニケーション能力を高めさせる。</p> <p>④様々な教科で自分の考え等を発表する活動を行い、発表力を高めさせる。</p>	<p>B</p> <p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は85.0%で、目標値を5.0ポイント上回った。</p> <p>【次年度の方針】 ・調べ学習（ICT機器や学校図書館等の利活用）に必要な、情報を集めたり活用したりする技能を高めさせる。 ・グループ内で意見を共有するために、PADLED等のアプリケーションを活用させる。 ・協働する学習を通して、コミュニケーション能力を高めさせる。 ・様々な教科で自分の考え等を発表する活動を行い、発表力を高めさせる。</p>

【総合的な評価】

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所には下線を付ける。

●数値指標から

- 1 全24項目中、22項目で数値指標を達成した。【達成率91.7%】
- 2 達成できなかった項目は次の通りである。
A6 英語でのコミュニケーション 生徒70.5% 目標値-9.5ポイント
A8 デジタル機器や図書等の活用 生徒77.7% 目標値-2.3ポイント

●経年比較から ※質問項目の刷新が行われた。

- 1 生徒の肯定的回答率は、【+5.9～-5.2】の間で変動した。
- 2 保護者の肯定的回答率は、【+8.4～-10.9】の間で変動した。
- 3 上昇した項目（値の大きいもの）
生徒 A18「家庭・地域・企業等との連携・協力」 A3「目標・あきらめない・粘り強さ」
保護者 A18「家庭・地域・企業等との連携・協力」 B1「あいさつ」
- 4 下降した項目（値の大きいもの）
生徒 A14「分かる授業、きめ細かな指導」
保護者 A4「健康や安全」 B2「きまりやマナー」 A19「安全に配慮した環境づくり」
活動の制限が少なくなり、地域の祭りにボランティアとして参加したりするなど、連携が進んだ。

●今年度の重点目標から

- 1 学校運営…「地域とともにある学校づくり」

- ・ A 1 7 「小中一貫・地域学校園」では、生徒 8 0. 9%，保護者 8 0. 2%，地域住民 1 0 0%であった。
- ・ A 1 8 「家庭・地域・企業等との連携・協力」では、生徒 8 3. 2%，保護者 8 6. 1%，地域住民 1 0 0%であった。

中学生が作成したおにぎりづくりの資料提供、お話し給食の実施（東小創立 1 5 0 周年記念献立）、あいさつ運動などの取組を引き続き行う。学校では、職場体験学習、地域と連携した食農体験、安全啓発活動、地域未来塾、地域未来会議が行われている。引き続き連携し、「地域とともにある学校づくり」を進める。

2 学習指導…確かな学力を身に付けさせるための授業展開や学習活動の工夫

- ・ A 1 「学習への主体的な取組」では、生徒 9 2. 5%，保護者 8 4. 1%であった。
- ・ A 6 「英語でのコミュニケーション」では、生徒 7 0. 5%であった。
- ・ A 8 「デジタル機器や図書等の活用」では、生徒 7 7. 5%，保護者 7 4. 1%であった。
- ・ A 1 4 「分かる授業、きめ細かな指導」では、生徒 9 2. 5%，保護者 7 2. 7%であった。

授業において、めあてを提示したり、単元の構想を説明して学習の見通しをもたせたり、話し合い活動や調べ学習を取り入れて形態を工夫したりする取組や、ICT 機器の活用が定着してきた。英語においては、タブレットを媒体にした会話学習など、生徒が発話する場の工夫を行う。図書館を使って、引き続き、家庭科における絵本の読み聞かせ練習、様々な調べ学習、新聞を活用した学習等を行う。今後も、TT（チームティーチング）、習熟度別学習、パフォーマンス課題（発表、スピーキングテスト、レポート作成等）を実施するとともに、教職員が研鑽を積む。

3 生徒指導…基本的な生活習慣を身に付け、高い規範意識に基づき行動する生徒の育成、「宮っ子心の教育」の推進

- ・ A 2 「思いやり」では、生徒 9 3. 6%，保護者 9 0. 7%，地域住民 1 0 0%であった。
- ・ A 3 「目標・あきらめない・粘り強さ」では、生徒 8 8. 4%，保護者 7 9. 8%であった。
- ・ A 1 1 「いじめ対策」では、生徒 9 5. 4%，保護者 7 2. 3%であった。
- ・ A 1 2 「認め励まし合う学級経営」では、生徒 9 5. 4%，保護者 7 7. 7%であった。
- ・ A 1 3 「一人一人が大切にされ活気がありいきいきしている」では、生徒 9 6. 0%，保護者 7 4. 8%，地域住民 1 0 0%であった。

「思いやりの心をもって接する生徒の育成」が、いじめを許さない雰囲気醸成や、ともに認め励まし合うクラスづくりにつながっていると考えられる。何事に対しても粘り強く取り組むことを苦手とする生徒が見られるので、学校生活のさまざまな場面で自己指導能力の育成に努めていく。今後も学校の取組を発信するとともに、保護者・地域の方々とコミュニケーションを大切にする。

- ・ B 1 「あいさつ」では、生徒 9 6. 0%，保護者 9 1. 1%，地域住民 8 3. 3%であったが、地域住民の肯定的回答は前年比－1 6. 7ポイントであった。
- 地区の方と接することのできる機会を今後も設け、交流を深められるよう促す。

4 健康（体力・保健・食・安全）

- ・ A 4 「健康や安全」では、生徒 9 1. 9%，保護者 8 2. 0%，地域住民 1 0 0%であったが、保護者の肯定的回答は前年比－1 0. 9ポイントであった。
- 避難訓練や交通安全教室、健康診断、教職員の講話等を通し、健康で過ごすことや体力づくりをすることの大切さと、安全を大切にしようという思いを育てる。

7 学校関係者評価

○ 英語のコミュニケーション（ALTとの交流の様子について）

- ・ 英語の授業では、タブレットを媒体として活用し、会話をより多く引き出す工夫をしている。ゲーム活動をALTが行うことなどを通し、発話量が増えるような試みを取り入れている。本校ALTはオーストラリア出身で、現地の珍しい花を紹介するコーナーなど、掲示物を作成している。
- ・ 引き続き、交流する場・機会を設ける。

○ いじめ対策（気持ちや悩みを伝える機会の確保について）

- ・ 全職員が、生徒からの相談を聞く体制をつくっている。養護教諭・メンタルサポーターも取り組んでいる。
- ・ 日記を毎日提出し学級担任がコメントを記して返却する取組も行っている。困っていることを書いて相談できる。
- ・ 「嫌な思いに関するアンケート」は年間4回実施し、書く場所を学校や家庭と変えたり、方式を記名や無記名にしたりするなど、気持ちを書きやすくする工夫を行っている。

- ・事例（悩みbox・相談箱）のような取組があるが、上河内中がいじめ対策の取組としてたくさんのことを行っていることが伝わる。
- ・引き続き、取り組む。
- あいさつ（経年比較の状況について）
 - ・地域住民の方の評価が下がったが、実際に生徒は、大変よくあいさつをしている。自分のところにくるとき、みな、あいさつをしている。
 - ・引き続き、あいさつの指導に取り組んでいく。
- 見える化
 - ・学校の行事や生徒会活動など、生徒が取り組んでいる画像等の配付があると、学校の様子がよく伝わる。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

■ 1 学校運営

- ・「生徒一人一人を大切にしたい、個に応じた支援の充実」について、今後も、普段の生活や特別活動（運動会・文化祭・宿泊的行事等）を通して、生徒一人一人の自己有用感や自己肯定感を高めていく。それぞれの学級への所属意識の向上を図り、各学期に教育相談の機会を設定するなどし、個に応じた支援の充実に努める。
- 「小中一貫・地域学校園」について、引き続き、あいさつ運動・中学生が作成するお弁当作りのための資料提供・進学先中学校訪問などに小・中で連携しながら取り組んでいく。
- 「地域とともにある学校づくり」について、今後も、地域の家庭や企業と連携し、食農体験・職場体験学習・安全啓発活動などに取り組む。まちづくり協議会等の組織と連携した地域イベントへの中学生の参加（ボランティア活動など）を推奨し、自分たちが住む地域への思いが高まるよう指導する。
- ・学校の教育活動について、学校の取組が伝わるよう、学校だよりやホームページ等を通しての情報発信を心がける。

■ 2 学習指導

- ・「確かな学力を身に付けさせるための授業展開や学習活動の工夫」に向けて、一人一授業公開による校内での研修や市教育委員会指導主事による指導を通して、教員の指導技術向上に努める。
- 「学びに向かう集団づくり」に向けて、地域学校園の「『ゆずっ子』の学びの5つの約束」を地域学校園学力向上部会で再確認して実践するとともに、「話し合う力」・「論理的に考えて話す力」の育成を心がけ、学習の基盤を育てる。
- ・「英語でのコミュニケーション」について、授業での英語の発話量が増えるよう、引き続き活動を工夫する。英語本の読み聞かせなどの、ALTと交流する機会を昼休み等に設定する。コミュニケーションの基礎・基本となる表現を繰り返し学習させることで、生徒の会話スキルをより定着させる。
- ・「デジタル機器や図書等の活用」について、各教科や総合的な学習の時間における調べ学習・発表等において、様々なソフトを紹介して活用を促したり、学校図書館の資料や新聞を利用させたりし、情報活用能力（デジタル・シティズンシップ）を育成する。

■ 3 生徒指導

- 「基本的な生活習慣を身に付け、高い規範意識に基づき行動する生徒の育成」については、生徒は思いやり・落ち着きがあり、自己肯定感も高いと考えられることもあり、現在の取組を継続する。「自分たちで決まりを見直す活動」を行い、それを守ろうとする遵法意識を高める。
- 「『宮っ子心の教育』の推進」に向けて、学校における体験活動・読書活動、及び道徳科の授業の充実を図る。学級の掲示物作成に際しては、一人一人の所属感・自己有用感を高めるように工夫する。

■ 4 健康

- ・生徒が「安全」を自ら意識して生活できる意識を高めるため、引き続き、避難訓練・食育・健康教育（含喫煙・薬物）の充実に努める。
- 「食や食農体験等の充実による地域の特色を生かした食育指導の推進」に向けて、お弁当の日、地域食材を生かした給食メニュー設定（行事食・地産地消等）、小中で連携した指導（食事マナー・衛生等）を充実させる。
- 「健康診断の結果を踏まえた地域学校園として連携した保健指導の充実」に向けて、特に、視力改善（維持）に向けた指導（デジタル機器による影響への対策等）を行う。
- 「域学校園の小中一貫カリキュラムを踏まえた運動生活の習慣化」に向けて、保健体育科、部活動等における基礎体力の向上を目指した取組を行う。